

令和2年度(2020年度)

管理事業名	難病支援事業				総合計画の体系	大綱 3 福祉・健康 政策 4 健康医療のまちづくり 施策 1 健康づくりの推進
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 04	衛生費	(項) 01	保健衛生費	(目) 10 保健事業費
部局名	健康医療部	予算執行所属	地域保健課			
予算大事業名 難病支援事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 【目的】難病患者の療養上の不安解消を図るとともに、在宅療養に関する支援を行います。 【概要】 ・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等による訪問指導・指導事業(難病患者が抱える日常生活上及び療養上の悩みに対する相談や指導等) ・難病に関する講演会事業(難病に関する専門の医師等による講演会の開催等)						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	成果指標の定義
訪問指導延件数	件	-	-	411	難病患者への訪問指導延件数
難病に関する講演会の案内に対する参加率	%	-	-	42.6	市域の難病講演会の案内文発送に対する参加者数の割合
成果の説明	難病患者への訪問指導延件数は411件でした。 難病の講演会は、新型コロナウイルス感染症の影響によりWEBで開催しました。549名に案内し234回の視聴があり、その割合は42.6%でした。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	236	236
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	28	28
経常収入 小計(a)	-	-	264	264
給与関係費	-	-	44,553	44,553
物件費	-	-	582	582
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	181	181
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	3,862	3,862
退職手当引当金繰入額	-	-	32,148	32,148
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	81,326	81,326
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△81,062	△81,062
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△81,062	△81,062
一般財源充当額	-	-	47,933	47,933
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	△33,128	△33,128

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金(経常費用充当)	難病患者地域支援対策推進事業費補助金 236千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	264	264
行政サービス活動支出	-	-	48,197	48,197
行政サービス活動収支差額	-	-	△47,933	△47,933
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	-	-	△47,933	△47,933
一般財源充当額	-	-	47,933	47,933
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
難病申請及び支援1人あたりのコスト	平成30年度	-	-	令和2年度の新規申請及び更新申請予定の指定難病患者数を算出し、1人あたり26,251円のコストとなっています。
	令和元年度	-	-	
	令和2年度	3,098人	26,251円	
	平成30年度	-	-	
	令和元年度	-	-	
	令和2年度	-	-	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和元年度末 A	令和2年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	3,862	3,862
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	3,862	3,862
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その流動資産	-	-	-	その流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	固定負債	-	29,267	29,267
有形固定資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	-	29,267	29,267
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	-	33,128	33,128
固定資産	-	-	-	純資産	-	△33,128	△33,128
インフラ資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	-	-	-
基金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

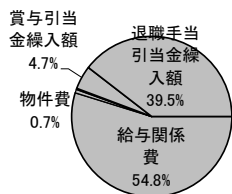
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	
事業従事人数	4.93 人	224 日	0 日	
給与関係費等	70,830 千円	9,732 千円		合計(千円) 80,563
内、時間外勤務手当	55 千円			

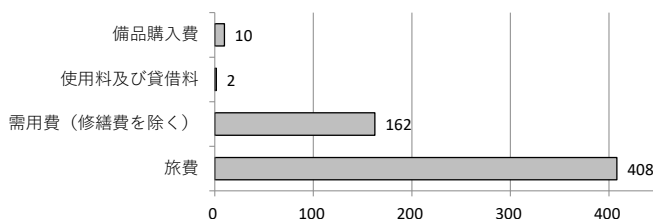
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成30年度	令和元年度 A	令和2年度 B	
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	-	99.5	99.5

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業の財源は、ほぼすべてが一般財源です。
 経常経費の主な項目は、給与関係費44,553千円、報償金131千円です。
 難病患者地域支援対策推進事業費補助金236千円を歳入に計上しています。
 難病支援事業が、令和2年4月1日に吹田市が中核市に移行したことに伴って開始した事業のため、行政コスト計算書等の各表の過年度の数値が表示されていません。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

難病患者が、安心して生活できるよう、在宅医療や訪問看護との連携、福祉サービスとの調整、また、難病患者とその家族が健康で過ごせるよう、職員による相談対応、難病に関する啓発事業等行っていく予定です。
 難病は、希少疾患であることから、病気の診断や治療に関する情報等を得る機会が少ないため、専門医等による講演会を企画していきます。また、療養上の工夫に関する内容等も加えることで、難病患者及び家族の療養環境の改善、向上を図っていきます。
 さらに、希少疾患であるが故、職員の知識習得が重要ですので、研修等の機会は積極的に参加し、支援に関するスキルアップを目指します。